

大会展望

男子展望

今大会は下級生主体のチームで県選抜大会を制し、全国大会へと出場した岐阜地区 1 位の岐阜総合学園が優勝候補の筆頭である。主将の田代高之、長身の伊藤宏将を中心にスピーディーで攻撃的な展開は健在である。対抗には地区予選で岐阜総合に敗れたものの、能力の高い選手を擁する岐阜農林があげられる。また中濃地区 1 位的美濃加茂も、非常にバランスのとれたチームで選手層も厚く、今大会にかけの意気込みは相当なものであろう。東海大会出場をかけた 3 位争いはシード校を中心に実力が均衡した混戦が予想される。

A ブロック、第 1 シードの岐阜総合学園が最有力である。国体、全国選抜と大舞台を経験しチームの完成度では申し分ない。対抗には長身センターを擁する美濃加茂があげられる。この 2 校がベスト 4 を懸けて戦うであろう。

B ブロック、第 4 シードの本巣松陽は激戦区を勝ち抜いた勢いがあり、ダークホース的存在になるだろう。対抗には高山西・岐南工・中京など実力校が集結しており、1 回戦から好ゲームが予想される。勢いに乗ったチームがベスト 4 に勝ち上がるだろう。

C ブロック、第 3 シードの富田は県選抜大会を新チームでありながら 3 位に入賞。上背はないが機動力を活かしたバスケットで上位を狙う。対抗には中津川工・大垣工・斐太など各地区の上位校が集結しており、好ゲームが予想される。

D ブロック、第 2 シードの岐阜農林が最有力である。得点能力の高い滝沢僚太・川崎拓哉を中心にチーム力が非常に高い。対抗には長身センターを擁する恵那があげられる。

女子展望

岐阜女子が選手層の厚さ・個々の能力の高さで群を抜いている。昨年の全国高校総体において準優勝という素晴らしい成績を収め、それを経験した下級生らも多数おり、つけいる隙は見あたらず優勝候補の筆頭である。対抗には、チーム力が高く粘り強い県岐阜商、ピックセンター武春宏を擁する高山西、安定した力をつけてきている岐阜総合学園があげられるが、岐阜女子相手にどこまで食らいついていけるか期待したい。

A ブロック、第 1 シードの岐阜女子が圧倒的な強さでベスト 4 に進出するだろう。対抗には、西濃地区 1 位の大垣商があげられる。

B ブロック、第 4 シードの岐阜総合学園が有力である。近年安定した力でベスト 4 に進出しているだけに今大会もキープしたいところだろう。対抗には東濃地区 1 位の土岐商があげられる。順当にいけばこの 2 校が、ベスト 4 を懸けて戦うだろう。

C ブロック、第 3 シードの高山西が安定した戦いでベスト 4 に進出するだろう。対抗には中濃地区 1 位の可児があげられる。富田の頑張りにも期待したい。

D ブロック、第 2 シードの県岐阜商が最有力である。対抗には実力のある多治見西・関商工があげられる。順当に行けばこの 2 校の勝者が、県岐阜商とベスト 4 を懸けて戦うであろう。